

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	生活環境研究		担当部局庁	国立保健医療科学院		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度、平成19年度		担当課室	総務部会計課		課長 岡山 幸平		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適性かつ効果的な運営を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第2条(水道事業体等への技術的支援等) 水道施設の技術的基準を定める省令第5条 (浄水施設に関する要件の確保)		関係する計画、通知等	平成18年3月厚生労働省の「水道分野の総合援助手法に関する検討報告」において、水道分野の国際協力において公衆衛生施策等との連携を図ることとされている。				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道行政における技術開発、浄水処理技術の性能向上を図るとともに、水分野における国際的な協力手法について調査研究を行う。さらにこれらの成果を水道事業体技術職員等を対象とした教育訓練及び研修に活用し、全国の水道関係技術者等の資質向上および技術的、人的支援を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	当院で保有する浄水処理実験プラントおよび関連の実験装置等を活用し、水道原水の変動や原水汚染に対応する処理技術の評価及び、浄水施設の運転管理手法の最適化に関する研究、高度浄水処理の実用化及び既存の浄水処理技術の性能向上に関する研究を行う。これらの成果を原水水質に対応する処理システムとしてその性能、運転管理方法等について整理する。また、JICA専門家等として関わってきた水道、水の衛生分野における国際協力や、WHO(国際保健機関)研究協力センターとしての活動などに関連して、調査研究事業を実施し、水分野の国際協力の一層の推進を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	11	9	6	9	9	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	11	9	6	9	9	
		執行額	11	11	6			
	執行率(%)	100.0%	122.2%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	1浄水処理技術評価研究事業 急激な濁度変化に対応する浄水処理技術に関する研究 (成果実績は設定テーマ数)		成果実績		—	1 7	1 5	1 3
	2水分野の国際協力手法に関する調査研究事業 水安全計画研修、ワークショップ、WHO関連の国際会議における情報提供、海外の水の安全推進拠点への情報提供等(人・日)		達成度	%	—	100 140	100 100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	1浄水処理技術評価研究事業 調査、研究の成果は基礎資料として整理し、マニュアル、ガイドラインとして活用するほか、内外部の研修会等を通じた資質向上への活用を目的としているため、定量的実績を示すのは困難である。		活動実績 (当初見込み)		—	400	200	—
	2水分野の国際協力手法に関する調査研究事業 水安全計画研修、ワークショップ、WHO関連の国際会議における情報提供、海外の水の安全推進拠点への情報提供等(人・日)				—	(200)	(200)	(-)
単位当たりコスト	3,000(円/人・日)		算出根拠	1浄水処理技術評価研究事業 実験により使用する機器、装置類、薬品、実験回数等が異なるため、単位あたりのコストを算出するのは困難である。それに加えて装置故障によるメンテナンス費や実験によっては改造、予備実験の有無等が発生するため単位の設定が困難である。 2水分野の国際協力手法に関する調査研究事業 執行額/(国際保健研修、JICA水道行政管理研修、JICA上水道施設技術研修の参加人数の日数の和+水安全計画パンフレット配布数)の参加人数の日数の和 600千円/200人・日 =3千円				
平成24・25年度予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	試験研究費	9.0	9.0					
	計	9.0	9.0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	水道普及率は98%近くに達し、国民生活の安全を守る上で欠かせない基盤施設である。近年は水道水の安全性や水質に関する国民の関心も高く、優先度は高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	水道法に定められる地方の水道事業者等への技術的支援の観点からも重要である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-
資金の流れ・使途・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一部の支出先について、導入時に複数年の賃貸借を目的とし入札を行っているため、当該年度は随意契約としたものがある。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	研修参加者数を踏まえ適切に執行し、経費の削減に努めている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定している。
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	原水水質の変動に対する浄水処理の適正処理の研究等、水道事業体に直接役に立つ成果であり、院内外の研修等で最新の成果を広く普及させている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	まとまった成果についてはマニュアル、ガイドライン等へ反映される。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績はその見込みに見合ったものとなっている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	国の水道に関する研究・研修施設は当院のみであり、実験施設・設備は研究だけでなく、当院の行う研修でも活用するなど有効利用を図っている。
点検結果	<p>1. 浄水処理技術評価研究事業 本事業は安全で安心な水道水の確保のための技術的支援に関わるものであり、国としての優先度の高い事業である。全国的に水道施設の老朽化が進んでおり、経年化施設における浄水水質の確保が大きな課題となっているが、一方で気候変動等により原水水質が短期的、長期的に変動する状況に如何に対応するかについて、技術的な知見を提供することは水道事業のレベル維持のために有益である。処理目標となる水質基準も逐次改正により常に変わっていくため、今後も継続して実施することが必要と考えられる。</p> <p>2. 水分野の国際協力手法に関する調査研究事業 本事業は、水と衛生に関する拡大パートナーシップ・イニシアティブ等に示された、国としての優先度の高い内容である。平成23年5月のWHO総会においても水と衛生問題への関与を一層強めることを日本国としても提案し、決議された重要議題である。今後一層国際会議における情報提供や研修との連携を図り、推進すべき内容である。</p>		
	<p style="text-align: center;">予算監視・効率化チームの所見</p>		
現状通り	<p>本事業は、水道行政における技術開発、浄水処理技術の性能向上を図るため必要な経費であり、執行状況等検証の上、引き続き適切な予算措置とすること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	-		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0603, 0605	平成23年行政事業レビュー	0916

国立保健医療科学院
6百万円

生活環境研究

【一般競争入

A. 民間企業(1件)
2.9百万円

【随意契

B. 民間企業(4件)
1.8百万円

小型浄水処理実験装置の設計及び製作

トリプル四重極リニアイオントラップ質量分
析装置一式賃貸借等

【随意契

C. 事務費
0.9百万円

備品費・消耗品費

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.磯村豊水機工株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	小型浄水処理実験装置の設計及び製作	2.90			
計		2.90	計		0
B.三井住友ファイナンス&リース(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃貸借	トリプル四重極リニアイオントラップ質量分析装置一式賃貸借	1.04			
計		1.04	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	100万円以上の支出先なし				
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	磯村豊水機工株式会社	小型浄水処理実験装置の設計及び製作	2.90	1者	80.6%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三井住友ファイナンス&リース(株)	トリプル四重極リニアイオントラップ質量分析装置一式賃貸借	1.04	随意契約	
2	(有)正陽印刷	WHOパンフレット日本語版印刷及びPDF作成	0.34	随意契約	
3	(株)ダイキ産業	微粒子カウンター・濁度計修理	0.32	随意契約	
4	前澤工業株式会社	浄水プラント設備点検	0.11	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	レノバサイエンス(株)	検査用試薬等購入	0.42	随意契約	
2	株式会社スギヤマゲン	ジャーテスター(検査用備品)購入	0.42	随意契約	
3	とら屋事務(株)	事務用消耗品購入	0.02	随意契約	
4	(株)池田理化	検査用試薬等購入	0.02	随意契約	
5	鍋林フジサイエンス(株)	検査用試薬等購入	0.01	随意契約	
6					
7					
8					
9					
10					